

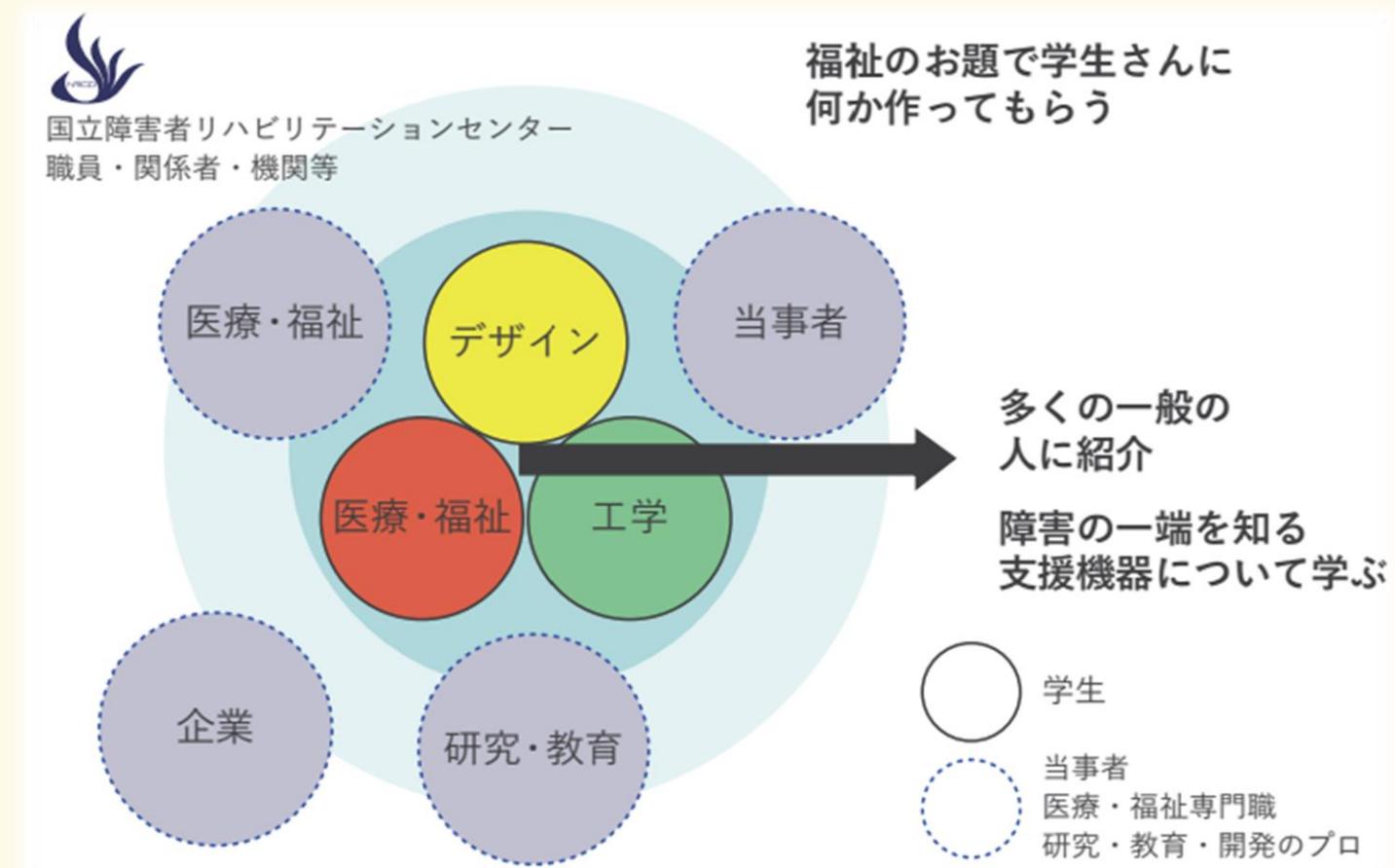
ニーズ&アイデア フォーラムについて



Needs & Ideas Forum for Well-being

NIFとは？

- ▷ この事業は、国立障害者リハビリテーションセンターが中心となり、障害のある人の支援機器関係のモノ作りに関する人材育成を目的として、2014年度から実施してきたプロジェクトです。
- ▷ 医療・福祉系、デザイン系、工学系の異なる学校の学生が混成チームを作り、障害のある当事者のニーズを探り、それを解決する支援機器のアイデアを考え形にして、多くの方々に発表することを通じ、様々なことを学んできました。



作品について

WORK

- ▷ 障害を持った人たちのニーズを学ぶことから始め、障害当事者の方々の意見を聞きながら、学生たちが自由にアイデアを出し合い、独創的な支援機器をいっしょに形にします。
- ▷ 例:2018年度作品 **視覚障害を持つ児童のための「楽しいさわれる絵本」**は2.5Dプリンタを用いた凹凸のあるイラストと、音声を楽しめる絵本。ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2019にも出展し、ヨッテク・デザイン大賞を受賞しました。



楽しいさわれる絵本

<http://n-i-f.jp/works2018/3>



ニーズ

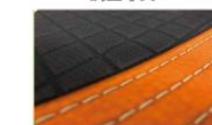
- 対象 視覚障害（弱視）を持つ就学前の児童
- 目的 動物の概念を学びたい
触覚と聴覚で認識したい
絵本を楽しみたい
晴眼者と共に楽しみたい

調査

- ぬいぐるみ
→知育玩具としてあまり見かけない
- 立体のリアルな模型
→製作が難しい
- 絵本
→音が出る絵本や触覚のある絵本は既存するが、立体で視覚障害に対応したい



調査写真 1



調査写真 2

アイデア

- 2.5Dプリンタと音声出力のある絵本の制作
→イラストを2.5Dプリンタで出力することによりさわって絵を理解でき、本文を音声で聞ける

提案システム

- さわれる
○聞ける
○大きいはっきりした絵
本文と色使い
○晴眼者と共に楽しめる



実装・モックアップ



実装写真 1



実装写真 2

成果発表会について

FORUM

- ▷ プロジェクトは8月から開始し、12月中旬に成果発表会を実施しています。
- ▷ 当日は参加者(障害のある人、福祉・教育に関心ある人、行政・企業の人など) からも、実際に作品を触って頂きながら、様々なアドバイスを頂きます。



- ▷ 支援機器制作を通して、異なる専門性を持った人たちが協力することによる無限の可能性や多職種連携を行う上での各職種の理解の大切さを学ぶことが出来ました。
- ▷ 初めは、各専門性についての理解が乏しく、私たちの専門性ではどのようなことが出来るのか、また、他の方々はどのような強みを持っているのかについて考えました。
- ▷ 相互の専門性の理解が進んだ上で話し合いの場面では、様々な視点からの意見が飛び交い、多くの学びがありました。大学では同じ専門性を持つ者同士との交流に限局されてしまう為、異なる分野で専門性を培っている方々の意見は大変刺激的で、広い視野を持つことの大切さを痛感しました。



今年度の活動について

ABOUT

①実施場所 国立障害者リハビリテーションセンター（埼玉県所沢市並木4丁目1番地）、オンライン（Zoom, Teams等）

※一部報告会等、関東圏の別の会場にて実施する可能性があります。

②実施期間 令和6年8月上旬～12月下旬 ※途中参加も可能です。

③実施のモデルプラン（右表） 初回オリエンテーションは（8月9日（金））に実施し、対面＋オンラインのハイブリッド形式での開催を予定しています。初回以降、試作やチームミーティングはチームで隨時実施。

④参加費用 ・無料 ・機器製作のための材料費用は支弁します。・交通費の支給はありません。

実施回 内容 ※状況に応じて変更の可能性もあります。

第1回 オリエンテーション(概要説明・施設見学・ニーズ例の紹介・その他)

第2回 ニーズの分析方法(講義)、取り組むニーズの決定とチーム編成

第3回 ニーズの聴取と分析、要求すべき仕様(要求仕様)の決定

第4回 基本仕様の決定と試作機等の作製

第5回 試作機の改良と臨床評価

第6回 成果物の進捗結果の発表(リハーサル, オンライン)

第7回 成果物の一般公開(成果発表会, ハイブリッド)